

近畿日本語学院 自己点検及び自己評価の実施について

2023年3月31日

1 根拠

日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号に規定に基づき、教育水準の向上と適切な業務運営を継続させるため、本校において「自己点検・自己評価の実施要綱」を定めて実施する。

2 実施主体

実施要綱で「学校評価委員会」の設置を定め、委員会が実施主体としてこれを実施する。

3 委員会の構成員

校長を委員長として、以下常勤の全教職員で構成する。

4 点検・評価項目

法務省による「日本語教育機関の告示基準」を参考とし、別紙「自己点検及び自己評価項目」に沿って点検・評価を行う。

5 評価方法

項目ごとに下記の4段階で評価する。

A：達成されている。

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。

C：達成に向けて努力している。

D：達成されていない。／必要性に気づいていなかった。

ただし、段階評価が困難な項目及び段階評価のみでは不十分な点については、「14. 総括」欄において記述方式で評価する。

6 実施時期

毎年、年度末の3月末日に実施する。

6 評価報告書の公表

自己評価報告書については校長決済とし、決済後、本校の設置者である天隆教育産業株式会社へ提出した上で、当校ホームページにて評価報告書を公表する。

自己点検及び自己評価項目

1 教育理念・目標・育成人材像

- 1-1 理念・目標・育成人材像は定められているか。 【 A · B · C · D 】
- 1-2 理念・目標が教職員、学生に周知されているか。 【 A · B · C · D 】
- 1-2 学校の特色は明確に現れているか。 【 A · B · C · D 】
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか。 【 A · B · C · D 】
- 1-4 理念に基づく教育が行われているか。 【 A · B · C · D 】

2 学校運営

- 2-1 運営方針や事業計画が定められているか。 【 A · B · C · D 】
- 2-2 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか。 【 A · B · C · D 】
- 2-3 設置者・設置代表者及び経営担当役員は告示で定められた要件を満たしているか。 【 A · B · C · D 】
- 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか。 【 A · B · C · D 】
- 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 【 A · B · C · D 】
- 2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか。 【 A · B · C · D 】
- 2-7 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう告示に基づき整備されているか。 【 A · B · C · D 】

3 教職員

- 3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか。 【 A · B · C · D 】
- 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか。 【 A · B · C · D 】
- 3-3 教職員評価を行っているか。 【 A · B · C · D 】
- 3-4 学校長・教務主任及び教員は告示で定める要件を備えているか。 【 A · B · C · D 】
- 3-5 学校長・教務主任・専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか。 【 A · B · C · D 】

4 事務体制

- 4-1 生活指導担当責任者及び入管事務担当者が特定され、それぞれの職務内容及び責任と権限が明確に定められているか。 【 A · B · C · D 】
- 4-2 生活指導担当責任者及び入管事務担当者が学生及び教職員に周知されているか。 【 A · B · C · D 】
- 4-3 入国管理局より認められた申請取次者を配置しているか。 【 A · B · C · D 】

5 教育活動

- 5-1 教育理念に沿ったカリキュラムが体系的に編成されているか。 【 A · B · C · D 】
- 5-2 授業評価の実施・評価体制は整備されているか。 【 A · B · C · D 】
- 5-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか。 【 A · B · C · D 】
- 5-4 成績評価や修了認定は適切に行われているか。 【 A · B · C · D 】
- 5-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか。 【 A · B · C · D 】

6 教育成果

- 6-1 生徒の日本語能力の向上が図られているか。 【 A · B · C · D 】
- 6-2 進学率及び就職率の向上が図られているか。 【 A · B · C · D 】
- 6-3 退学率の低減が図られているか。 【 A · B · C · D 】
- 6-4 卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 【 A · B · C · D 】

7 学生支援

- 7-1 進路・就職指導に対する体制は整備され、有効に機能しているか。 【 A · B · C · D 】
- 7-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか。 【 A · B · C · D 】
- 7-3 奨学金等の経済的支援が整備され、機能しているか。 【 A · B · C · D 】
- 7-4 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う組織体制があり、有効に機能しているか。 【 A · B · C · D 】
- 7-5 学生の生活環境への支援が整備され、有効に機能しているか。 【 A · B · C · D 】
- 7-6 保護者や在日支援者と適切に連携しているか。 【 A · B · C · D 】
- 7-7 卒業生への支援体制はあるか。 【 A · B · C · D 】

8 教育環境

- 8-1 教育機関として適切な位置環境にあるか。 【 A · B · C · D 】
- 8-2 校地・校舎の面積は告示に適合しているか。 【 A · B · C · D 】
- 8-3 教室・その他の施設は告示に適合しているか。 【 A · B · C · D 】
- 8-4 学校施設や設備は十分であるか。 【 A · B · C · D 】
- 8-5 学校施設や設備は安全に整備されているか。 【 A · B · C · D 】
- 8-6 図書や教材は適切で最新のものを取り入れているか。 【 A · B · C · D 】
- 8-7 学習効率を図るための環境整備がなされているか。 【 A · B · C · D 】

9 危機管理・安全

- 9-1 危機管理体制が整備されているか。 【 A · B · C · D 】
- 9-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難場所を定めているか。 【 A · B · C · D 】
- 9-3 気象警報が発令された場合の措置を定めているか。 【 A · B · C · D 】

- 9-4 災害等に対する避難訓練を定期的実施しているか。 【 A · B · C · D 】
- 9-5 防災用品が備蓄されているか。 【 A · B · C · D 】

10 学生募集と受け入れ

- 10-1 学生の受入方針は定められているか。 【 A · B · C · D 】
- 10-2 学生募集活動は適正に行われているか。 【 A · B · C · D 】
- 10-3 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか。 【 A · B · C · D 】
- 10-4 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 【 A · B · C · D 】
- 10-5 告示に基づいた適正な定員設定及び在籍者数になっているか。 【 A · B · C · D 】

11 財務

- 11-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。 【 A · B · C · D 】
- 11-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。 【 A · B · C · D 】
- 11-3 財務について会計監査は適正に行われているか。 【 A · B · C · D 】
- 11-4 財務情報公開の体制整備はできているか。 【 A · B · C · D 】

12 法令等の遵守

- 12-1 入管法を中心とした各種法令、告示及び設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 【 A · B · C · D 】
- 12-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 【 A · B · C · D 】
- 12-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 【 A · B · C · D 】
- 12-4 自己点検・自己評価を公開しているか。 【 A · B · C · D 】
- 12-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか。 【 A · B · C · D 】

13 社会貢献

- 13-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 【 A · B · C · D 】
- 13-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。 【 A · B · C · D 】

14 総括（自由記述）

- ..【学生募集】コロナ禍の影響で、面接はオンラインで行っていたが、次回は対面に移行していく。.....
- ..【教育活動】コロナ禍の影響で、学生の入国が遅れ、教育成果が目標に達することができなかった。..
- ..【社会貢献】コロナ禍の影響で、ボランティアの活動ができなかったが、次年度は積極的に参加する。.....
- ..【その他】改善余地がある項目については、来年度の評価に向けて改善を行う。.....
-
-

以上